

明日を拓く 輝く『ふじの人』の育成に向けて

世界遺産富士山の麓に広がる本市は、古くから富士山の豊富な地下水や森林資源など「富士山の恵み」によって発展してきました。そして、この恵みを背景に、「富士山のように」で始まる富士市民憲章に基づき、歴史と伝統を受け継ぎ明日に向かって豊かな産業と文化のまちづくりを進めております。

さて、世界は誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指しています。

今後の社会はSociety5.0時代に突入し、日一日と大きく変革していくことでしょう。そのような社会で生きていく子どもたちには、学習指導要領の目指す「学んだことを人生や社会に生かそうとする力」「未知の状況に対応できる力」「実際の社会や生活で生きて働く力」をバランスよく育むことが必要です。

また、人生百年時代を見据え、生涯を通じて多様な学習の機会を提供し、一人ひとりの多様な個性や優れた才能を生かし、新たな価値を創造し、人が人としてより幸せに生きることができるような教育環境を創っていくことが大切です。

「第二次富士市教育振興基本計画」におきましては、明日を拓き、輝く「ふじの人」を育むことを目指しております。未来を担う子どもたち、社会の活力となる青少年、そして生涯学び続け成長する市民の皆様の学びを支えることが、教育委員会の役割であります。

社会全体で一緒に学び、生涯にわたって一生学ぶことができる教育環境を創り、学びを楽しむ「ふじの人」づくりを一層推進してまいります。



富士市教育委員会

教育長 森田 嘉幸